

平成 24 年度事業報告書

社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボは、奈良の文化・歴史・地域産業等についての調査研究活動ならびに各種の文化教室・生涯学習講座および健康福祉の施設運営について広く地域社会に公開するとともに、地域の文化事業を支援することにより地域活性化に貢献することを目的としている。平成 24 年度事業実績は以下の通りである。

(A) 総括

1. 「からだの健康づくり講座」及び「こころの健康づくり講座」等に関する企画運営事業

＜奈良ウェルネス倶楽部の運営＞

○ 通常講座運営

(講座状況)

【前期：4月～9月】 ・講座数 312 講座 ・講師数 146 名 ・受講件数 3,159 件

【後期：10月～3月】 ・講座数 311 講座 ・講師数 149 名 ・受講件数 3,122 件

※受講件数は各期末時点

(販促活動)

【前期：4月～9月】

- ・春期新聞折込募集チラシ 3/5 21.5 万部配布（奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市）
- ・春期追加新聞折込募集チラシ 4/10 15 万部配布（奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市）
- ・大和西大寺駅 ポスター掲示
- ・夏期新聞折込募集チラシ 6/5 13.5 万部配布（奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市）

【後期：10月～3月】

- ・秋期新聞折込募集チラシ 9/9 19.7 万部配布（奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市）
- ・ケイコと学ぶ本誌 12 月発行分～3 月発行分まで掲載
- ・ケイコと学ぶ.net 12 月～3 月まで掲載
- ・大和西大寺駅 ポスター掲示

○ 吉本特別講座の開催

奈良ウェルネス倶楽部と吉本興業とのコラボレーションが実現。人気芸人を講師に招き全 6 回の特別講演を開催し、総勢 228 名が参加。

また、「吉本百年物語」観劇券を受講生中心に販売（100 枚以上）。

○ 奈良から学ぶ特別講座の開催

国家発症の地である奈良の過去から現在に至る物語を体感してもらう「奈良から学ぶシリーズ」を企画。「古事記に挑み古代を読む」「樹木医が語る『古代の自然が残る奈良』」「瓦に親しみ歴史を紐解く」の3講座をそれぞれの分野の著名な講師をお招きし、毎月1回ずつ計6回開催。

○ 日本画の巨匠・上村淳之画伯による特別講演の開催

日本画の巨匠である上村淳之画伯をお招きし、「天女はなぜ舞うか」と題して「日本の心」と「美の原点」を語っていただく。96名が参加。

○ 第5回奈良ウェルネス倶楽部フェスティバルの開催

受講生による講座の相互交流の促進を目的に開催

- ・期間：11月2日（金）～4日（日） 3日間
- ・来館者数：1,024名
- ・実施内容：作品展示28講座、発表会12講座、体験会24講座

2. 地域社会に貢献するための経済・政治・文化ならびに諸制度に関する調査研究

○ 一町一村一まちづくり構想推進事業(明日香村・上北山村)

明日香村・上北山村における“まちづくり”を推進するため、地域におけるワークショップを開催し、地域が取り組むテーマに応じた「まちづくり構想」のとりまとめ
(平成24年11月20日奈良県庁より受託 平成25年3月22日終了)

○ 奈良県庁南部振興スローライフ事業 現地調査活動

十津川村／野迫川村 村役場にて意見交換、現地視察等
(県庁南部振興課・村役場・村民の方々・NPO スローライフジャパン・SSL 平成24年7月10・11日)
スローライフ逸品フォーラム(富山県)各分科会・全体会参加、現地視察
(平成24年10月13・14日)

○ 奈良公園周辺施設勉強会の開催(随時)

県・市・事業者(公園周辺商業施設)による共同研究会
「テーマ 観光都市奈良のランドスケープについて」
(平成24年11月20日)

○ イエール大学浜田宏一教授の特別講演の開催

(平成24年4月大阪商工会議所と共催・同5月京都大学・京都経済同友会共催)

- 大阪市北区調査について大阪市立大学と共同申請の為の調査活動
(平成 25 年 3 月)
- チェックトランケーション導入の研究並びに中間報告検討会
(平成 24 年 12 月)
- NHK カルチャー梅田教室「大和路を行く」毎月第 3 土曜日
SSL 研究員を講師派遣
(平成 25 年 3 月で終了)
- ブレンド関西主催 地域需要セミナー(デザインクリエイティブでビジネスを加速するセミナー)
開催協力とコーディネーターを務める
(平成 25 年 2 月 26 日)
- 岩手県主催「いわて三陸復興フォーラム 関西大学」パネラー出演
(平成 25 年 1 月 26 日)
- 日本経済政策学会に加入し、地域政策の調査研究ならびに施策提言等についての
学会活動に参加
日本経済政策学会発表「テーマ 東日本大震災復旧事業における宿泊施設の需給ギャップ分析」
(平成 24 年 5 月 27 日)
- 定性リサーチサービス研究会
企業内あるいは企業向けの定性調査の実践者に向けた日本独自の教育プログラムの開発研究
(平成 22. 10. 01～現在)

3. 伝統的日本文化の行催事等慣習・風俗・歴史の研究・保存・伝承並びに地域の行催事 支援

- なら芝能 協賛支援
芝能は特別に舞台を設けず、自然そのものを舞台として演ぜられる全国的にも珍しい原始的演
能であり、その伝統の継承と普及をしている「NPO 法人奈良能」への支援活動として協賛
(平成 25 年 3 月 16 日)

4. 寄付金、協賛金等

社団法人の事業運営については、奈良ウェルネス倶楽部の事業を厚生労働省所管の旧なら社会保険センターから継承した平成 19 年設立以来、継続して支援いただいている法人より、平成 24 年度は 8,000 千円を寄付金として受領

(B) 会議等

平成 24 年

- 5 月 17 日 講師運営委員会開催（第 1 回）
- 5 月 30 日 社員総会開催
- 5 月 30 日 理事会開催
- 7 月 26 日 講師運営委員会開催（第 2 回）
- 11 月 8 日 講師運営委員会開催（第 3 回）
- 11 月 25 日 奈良ウェルネス倶楽部講師打合せ会
- 2 月 21 日 講師運営委員会開催（第 4 回）

(C) 会員数

平成 25 年 3 月 31 日現在

個人会員	11 名(13 口)
法人会員	5 名(15 口)
計	16 名(28 口)

以上